# Higashitani

# 東谷小地域



### めざす地域像

東谷小地域には、日本一の里山とも称される黒川と日本のダム湖百選にも選ばれている知明湖が存在するなど、美しい自然環境が、米をしいたけ、栗などの農産がしいたけ、栗などの農産さらに、歴史ある寺や神社のでは、城跡や小学校跡などでいます。

キャッチフレーズ

# 幸せいっぱい夢いっぱい、豊かな自然と 笑顔の絆で結ばれるまち "東谷"

# 現 状 1 地域の現況と人口推計

#### (1)位置と地勢

市の北部に位置する東谷小地域は、妙見山を擁する黒川地区、一庫ダムを擁する国崎地区を含む広大な地域です。

南北には国道 173 号と能勢電鉄が通っています。また、地域内には多くの農地が存在しています。



#### (2)人口と世帯

人口は、平成 17 年の 14,699 人から平成 22 年の 14,641 人まで 5 年間で 0.4%減少しました (全市では、0.1%増加しています)。

年齢別人口割合は、 $35\sim39$  歳が最も多く、続いて  $60\sim64$  歳が多くなっています。【左下図】

世帯数は、平成 18 年が 5,399 世帯、平成 23 年が 5,738 世帯と 5 年間 で 6.3%増加しています(全市では 6%増加しています)。

地域の将来人口を推計すると、10年後の平成34年にはおおむね14,400人となり、1%ほど少なくなる可能性があります。【右下図】



# 現 状 2 地域の主な資源・地域活動と意識

#### (1)地域の主な資源・地域活動



#### ②主な地域活動

- •納涼祭
- 体育祭
- 文化まつり
- 「プラザ・ひがしたに」を 拠点とした体育・福祉推進 活動(スポーツクラブ21 ひがしたに、カフェのぞみ 等)
- ・各種スポーツ団体による青 少年の健全育成(スポーツ、 青少年活動)
- ・「ほっと・笑」
- こども安全まもり隊
- ・黒川里山まつり

### (2)市民意識調査(東谷小地域集計)

#### ①定住意向

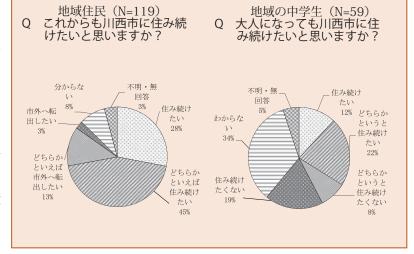
「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた地域住民は、73%となっています。

一方で、中学生では、34%となりました。

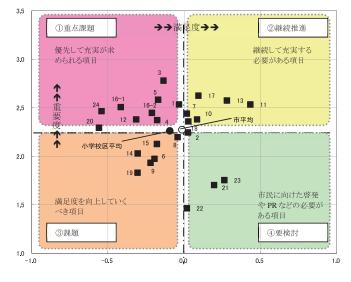
#### ②施策の重要度・満足度

重点課題として「子育て支援」「高齢者 の支援」などが挙げられています。

また、継続推進すべきこととして「省資源・リサイクル」、「上水道の安定供給」などが挙げられています。



①重点課題	②継続推進
1.健康づくりの支援	7.学校教育環境の整備
3.高齢者の支援	10.環境の保全
4.障がい者の支援	11 省資源 リサイクル
5.子育て支援	13.上水道の安定供給
12.公園 みどりの整備	17.防災力の向上
16-1.交通施設の整備	18.生活安全の推進
16-2.公共交通の利便性向上	
20.労働環境の向上	
24.効率的な行財政の運営	
③課題	<ul><li>④要検討</li></ul>
6.低所得者福祉	2.地域福祉の推進
8.青少年の育成	21.観光の振興
9.生涯学習・文化の振興	22.共感・共生のまちづくり
14.都市計画の推進	23.参画と協働のまちづくりの推進
15.市街地整備	
19.産業の振興	



# Higashitani 東谷小地域

## ● 地域の課題とありたい姿 地域別懇談会で議論された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された意見をもとに、東谷小地域のありたい姿と課題を生活のテーマ (第5次総合計画における「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」の4つ)に整理・集約すると、次のようになります。

#### 暮らし

#### ◆…主な課題…◆

- ・消防車が楽に通れる道路の確保やバリアフリーの推進が必要である
- ・買い物施設や医療施設の充実のほかに、細い道の改善や駅前の整備が必要である
- ・黒豆などの農産物の地産地消をすすめるとともに、星やホタルなどの地域資源についてもインターネット等を用いて広く魅力を発信する必要がある

#### ◆…地域のありたい姿…◆

- ・道路は不便でない程度に広く、近所に買い物をする場所があり、住んでいる人同士がマナーよく快適に 暮らせるようなまちにしたい
- ・里山が広がり、空気がおいしく、夜は星とホタルの光が輝くといった地域の良さを内外に発信し、「東谷ブランド」として確立しているまちにしたい

#### 安全安心

#### ◆…主な課題…◆

- ・高齢者に対する日頃からの見守りの充実や高齢者が集う場所の確保が必要である
- ・高齢者をはじめ誰もが生きがいを持てる地域にしていく必要がある
- ・日本一の里山や一庫ダム、一庫大路次川や初谷川など豊かな自然環境をもっと大切に思えるような啓発 と取り組みが必要である

#### ◆…地域のありたい姿…◆

- ・高齢者がひとり暮らしになっても話ができる場所があり、安心して生き生きと暮らせるまちにしたい
- ・交通弱者をはじめ、全ての住民にとって安全で安心なまちにしたい
- ・豊かな自然環境を守り育てていくまちにしたい
- ・田んぼや空き地、裏山など自然の中で子どもがどこでも遊べるまちにしたい

#### 生きがい

#### ◆…主な課題…◆

- ・子どもが遊ぶ公園や野外の遊び場が不足しているため、子どもがのびのび遊べる場所の確保が必要である
- ・地域の人が子どもを叱れるなど地域で子どもを育てる環境が必要である
- ・子育て世代が多い地域であり、保育所の充実など子育て支援の取り組みがもっと必要である
- 伝統や歴史的な資源は多くあるが活用できていないため、うまく残し、守り、活用していく必要がある

#### ◆…地域のありたい姿…◆

- ・地域で子育てができ、「アカンもんはアカン」と言えるまちにしたい
- ・自然や伝統を次世代に伝えるまちにしたい

#### つながり

#### ◆…主な課題…◆

- ・地域の範囲が広く、住民全体の一体感が見えにくいため、交流や活動の工夫が必要である
- ・地域活動への参加者が限定的になってきているため、活動の仲間や後継者を確保する必要がある
- ・女性やリタイアした人など既にある人材や活動を掘り起すとともに、働く場を創造することが必要である

#### ◆…地域のありたい姿…◆

- ・体育祭など地域が一つになれるような行事を中心として、地域活動へ多くの住民が参加し、日頃から新旧に関わらずあいさつなどを通じて住民同士が交流できるまちにしたい
- ・リーダーや核になる人とそれを助ける人がたくさんいる新旧住民が一体となった仲の良いまちにしたい
- ・地域で採れるものを使った大衆食堂の運営や、移動手段の確保、地域通貨の運用、介護ビジネスなど、 地域でできることをコミュニティビジネスとして興すことで、活気のあるまちにしたい
- ・誰もがボランティアやコミュニティビジネスなどに参画でき、自己実現や生きがいを実感できるまちに したい

## 地域のありたい姿を実現するための取り組み 地域別懇談会で検討された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された、東谷小地域のありたい姿を実現するための地域の取り組み 内容を整理すると、次のようになります。

#### 暮らし

- ・コミュニティ交通の構築 ・自然と農で東谷ブランドをつくる
- ・働ける場の創出による人的資源(高齢者、非就労者、女性)の活用と収入の確保

#### 央仝央心

- ・助け合い組織をつくり、高齢者の見守りや安否確認を行う
- ・東谷の自然の良さを地域の人が理解する ・全国レベルでの黒川の PR

#### 生きがい

- ・地域の子育て支援を充実させる・学校と地域が一体となった教育の実施
- ・小学校施設の有効活用(校庭のナイター設備の充実等) ・地域の伝統行事を知ってもらう

#### つながり

- ・コミュニティビジネス\*の創出 ・地域活動ボランティア、自治会員の増員
- ・多世代の交流促進・世代交代、若い人材の発掘・登用
- ・あいさつ声かけ運動の推進

# 市の主な関連する施策(参考)

- ・施策 2 道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます
- ・施策3 交通安全の施設整備と啓発を行い、交通事故を減 らします
- ・施策8 総合的な交通環境の向上を図ります
- 施策 13 農業を振興します
- ・施策 14 就労支援の充実と勤労者福祉の向上を図ります
- ・施策 15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます
- ・施策 20 地域福祉活動の支援と促進を図ります

- ・施策 21 高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要 介護状態を予防・改善します
- ・施策 22 高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進します
- ・施策 28 豊かな自然環境を次世代へ継承します
- ・施策 31 子どもの健やかな育ちを実現します
- ・施策32明るく楽しい子育てを支援します
- ・施策35こころ豊かな児童・生徒を育みます
- ・施策 40 ふるさと川西の文化遺産を保存・継承・活用します
- ・施策 44 市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します